

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：都市局 街路交通施設課
 担当課長名：服部 卓也

事業名	連続立体交差事業 西武鉄道新宿線（中井駅～野方駅間）	事業区分	連続立体交差	事業主体	東京都
起終点	東京都中野区上高田 至：東京都中野区野方	延長	約2.4km		
事業概要					
本事業は、西武鉄道新宿線の中井駅～野方駅間の約2.4kmにおいて鉄道を地下化することにより、7箇所の踏切を除去し、都市内交通の円滑化を図るとともに、分断された市街地の一体化による都市の活性化を図る事業である。					
H25年度事業化	H23年度都市計画決定	H25年度用地着手	H25年度工事着手		
全体事業費	約1,219億円	事業進捗率	約45%	供用済延長	— km
計画交通量	161,868台時／日（踏切交通遮断量）				
費用対効果	B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 3.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 483/1,046億円 事業費：481/1,044億円 維持管理費：2.5/2.5億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,525/1,525億円 移動時間短縮便益：1,376/1,376億円 走行経費減少便益：136/136億円 交通事故減少便益：13/13億円	基準年	令和5年
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=1.3～1.6（交通量±10%） (残事業) 交通量：B/C=2.8～3.5（交通量±10%） 事業費：B/C=1.4～1.5（事業費±10%） 事業費：B/C=2.9～3.5（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.4～1.5（事業期間±20%） 事業期間：B/C=3.1～3.2（事業期間±20%）					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・交通渋滞の解消、歩行者・自転車の回遊性及びバスの定時性の向上 踏切の除却や新井薬師前駅・沼袋駅の地下化により、南北市街地の行き来が容易になり、歩行者・自転車の移動が円滑化され、回遊性が向上する。さらに、踏切渋滞が解消されて、バスの定時性が向上する。 ・上部空間（鉄道跡地）の活用による都市機能の向上 上部空間や駅前広場の活用によるにぎわい創出 ・通学路の安全性確保 踏切の除却により踏切を横断することなく通学できるようになるため、通学路の安全が確保される。 					
関係する地方公共団体等の意見					
—					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
本事業区間に含まれる新井薬師前駅・沼袋駅周辺では、街路や駅前広場などのまちづくりの計画が進んでいる。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率約98%、事業進捗率約45% ・用地については約98%取得している。 ・工事については軌道仮受工事や土留め工事等の仮設工事及び掘削工事を実施している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
<ul style="list-style-type: none"> ・用地については、早期の取得及び更地化を目指す。 ・工事については、取付部、駅部において残りの仮設工事及び掘削工事を実施し、完了後、本体工事を進める。 					
施設の構造や工法の変更等					
<ul style="list-style-type: none"> ・工事数量を削減するため、ダイヤ改正を実施し、工事中の沼袋駅の配線を2面4線から2面3線とした。 ・今後とも、工事コストの削減の可能性を検討していく。 					

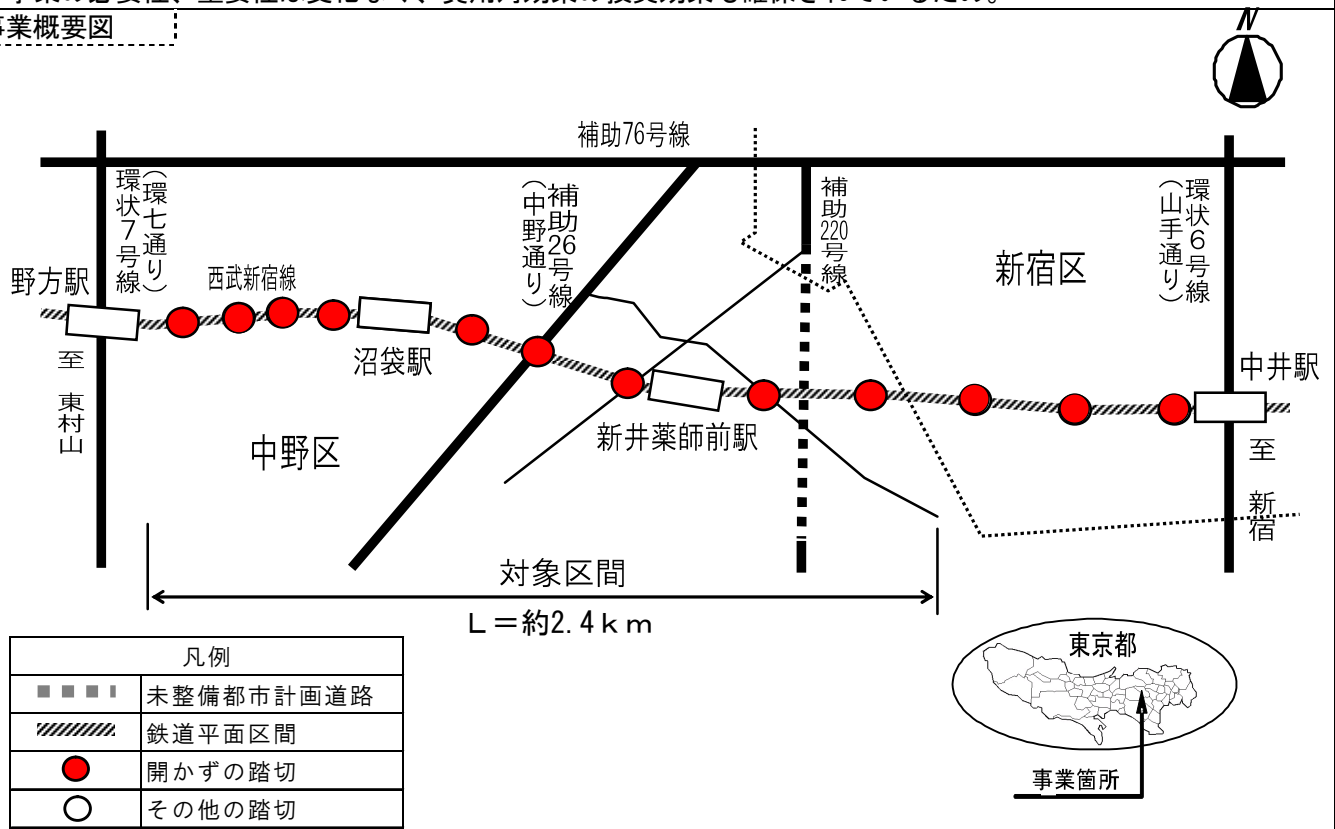
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。